筑波技術大学
産学官連携
シーズ

聴覚障害者に分かりやすい案内表示

Comprehensible sign for Hearing-Impaired people

産業技術学部・教授	井上　征矢

キーワード

交通施設、情報保障

研究概要

1. 聴覚障害者がスクロール表示文を読解する際の視線の動きを計測したところ、視線を文字移動方向に引きずられながら読む傾向が健聴者よりも強いという結果が得られた。また読解後に行った表示内容を確認する質問への正答率も健聴学生に比べて低かった。しかし全文を静止表示した場合には正答率が向上し有意な差はなかった。聴覚障害者がスクロール表示文を読解する際に、健聴者以上の苦労を伴うことを示唆している。そこで交通施設で使用される案内文を題材とし、スクロール表示であっても聴覚障害者にとって読みやすい文章のあり方に関する検討を行い、主語と述語の関係を明確にする「語順の入れ替え」や「より直接的な表現への書き換え」等を提案した。

2. 聴覚障害者の誤認が多い案内用図記号について、当事者の意見を反映して修正案を作成し、それらの意味の伝わりやすさについて評価を行った。そしてその結果に基いて、5種類の案内用図記号の修正案を提案した。聴覚障害者では、少ない構成要素で象徴的に表された図記号よりも、形がより説明的・描写的な図記号を分かりやすいと考える人が、健聴者に比べて多いことを示唆する結果であった。

3. 気象庁が津波注意報・警報及び大津波警報を発表した際、海水浴場を利用している聴覚障害者にこれを視覚的に伝える手段が必要である。気象庁が立ち上げた「津波警報等の視覚による伝達のあり方検討会」に委員として参加し、旗の掲揚画像を用いた聴覚障害者対象のアンケート調査や色覚特性のある人対象のアンケート調査等を実施して、「津波フラッグ」の制定に協力した。

応用例・用途

公共空間における案内表示への活用など

国立大学法人 筑波技術大学　学術・研究委員会
【問い合わせ先】
〒305-8520　茨城県つくば市天久保4-3-15　大学戦略課　企画戦略係
TEL：029-858-9339　FAX：029-858-9312　E-MAIL：kenkyo@ad.tsukuba-tech.ac.jp